

学位取得 おめでとうございます

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。緊急事態宣言が発出されている中で卒業研究発表会。まさに本学の歴史において初めて経験する事態を乗り越え、今年皆さんを社会に送り出すこ

どんな時代でも 前向きであること



学長 成田 健一

となりました。残念なことに保護者の皆様には、晴れの学位記授与式に列席頂くことができませんでした。学位記授与式をなんとしても執り行うための苦渋の選択であること、ご理解賜りますようお願い申し上げます。卒業生の皆さんは、昨年3月、卒業

さんが卒業研究という集大成をやり遂げたという経験は、きっと皆さんの人生においてプラスになってくれると信じています。これから世界規模で本格化するワクチン接種で、事態が収拾することが期待されています。しかし、世の中がま

研究に取り組み始めようとする矢先にリモートでの対応を余儀なくされました。卒業研究に取り組む1年間は、本学の学生が一番成長する時間です。その大事な時間に対面での指導が普段通りにできなかったことは、痛恨の極みです。ただこのような逆境の中で、皆

たく元通りになることはないと思いません。ウイルスという見えない存在が社会の色々な課題を可視化しました。むしろ元通りになってほしくないものは何か、それを考えることが、今は求められているように思います。これからの時代に必要なものは何か、改めて問われる工学の価値を実践することが皆さんの歩む道ではないでしょうか。2030年までの今後10年間の我々の選択が、人類の行方を左右する。そういう認識が広まりつつあります。何もしなくても今までの生活が持続するというのは錯覚です。皆さんには、こんな時代だからこそ、世の中を悲観せず前向きに学び続けてほしい。高学歴であるとは一生学び続けること。それがこれからの時代の価値観です。本学で身につけた学びの作法を活かし、高学歴人材として、新しい社会の創造に貢献されることを心から願っています。

新しいものが 誕生する時代に



理事長 柳澤 章

ご卒業おめでとうございます。皆さんが、日本工業大学で学び、専門技術を得、研究や実習に打ち込み、友と過ごした日々は、これからの人生にとって、かけがえのない糧となるに違いありません。本人が認識していることもあれば

る人が、手探りをしているところにあるから新しいビジネスが生まれ、これまでない働き方もまた登場しています。企業や組織でも、なかなか変えてこれなかったことが、これを機に改められるならば、次へのエネルギーを蓄えていけるのです。

決の道を導く人材を育成します。ビジネスなど様々な場で活躍していく上でこの手法は、専門家にならないとしても活用していきけるものではないでしょうか。母校の発展に期待してください。かつて、データサイエンスという概念が存在しなかった19世紀半ばは、データの分析をもとに医療衛生の改善を言及し、死亡率の劇的な低減につなげた人物がいます。野戦病院で看護をしたが、患者の入院時の症状と推移、病室の環境、病床の配置など詳細なデータをとったナイチンゲールです。彼女は、どんな仕事にあっても学ぶことができるのは現場のみである、という言葉のこししています。社会に羽ばたく皆さんにおかれましても、ご自身の受け持つ現場で、工学の眼差しをもって、よき仕事を成し遂げていってください。皆さんの健康と活躍を心より祈念いたします。



今年度の留学生別科修了式は3月1日、同科教室において執り行われた。修了生は4名で、全員が中国出身。成田学長から一人ひとりに修了証書が授与された。今後の進路は1名が本学大学院機械システム工学専攻へ進学、3名は機械工学科、

4名全員が本学進学 留学生別科修了式挙行政 成田学長は告辞で「努力して身につけた知識だけが自分で使いこなせるようになり、人生において意味を持つ。楽しく学ぶことは大切だが、楽な学びはない。叱咤激励した。続いて修了生が一人ずつ謝辞を述べた。修了生の一人は「入学式の時は学長の話が全く理解できなかったが、先ほどの告辞の内容はよく分かった。この一年、先生たちには非常にお世話になった」と感謝の意を伝えた。

カレッジマイスターに27名認定

ものづくりの現場のリーダーとして期待

本年度のカレッジマイスターエクセレントには、生産現場のリーダーに求められる素養を身に付けた者として27名が認定され、学位記授与式において認定証とゴールドメダルが授与される。今後、工房で身に付けたものづくりにおける高い総合力を発揮し、社会に大きく貢献することが期待される。

ミウラ工房(2名)、モノ創りデザイン工房(2名)、マイクロ・ナノ工房(1名)、ロボット創造工房(5名)、2×4木造建築工房(5名)、木造建築工房(1名※)。

なお、本年度の認定者は旧課程の最後の履修者であり、今後の新しいプログラムは新課程に引き継がれる。

工房別の認定者数は次の通りである。機械加工工房(11名)、フォー

※新課程の早期卒業生



機械加工工房



2×4木造建築工房

学園創立110周年・大学設立50周年記念建設事業 寄附の御礼とご報告

多大なご支援を賜り、ありがとうございました。

募金件数1,629件 募金総額725,855,790円

学園創立110周年・大学設立50周年記念建設事業の趣旨にご賛同・ご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして、全ての記念建設事業を無事に完工することが出来ました。

ご寄附いただいた方々のご芳名を学校法人のホームページに掲載させていただきます。大学ホームページより「周年記念建設事業ご芳名録」のパナーをクリックしてください。



宮代キャンパス 写真アルバム



フレッシュマン
キャンプ 2017年4月



入学式
2017年4月



夏祭り
2017年8月



体育祭
2017年6月



若杉祭
2017年11月



◆主に4年生(卒業生)が写っている写真を掲載しています。
◆年月は撮影した時期を表しています。
◆★印の写真は学生自治会卒業アルバム委員会より提供されました。



対面で実施した合同企業説明会(2021年2月)

毎年10月頃、多くの受験生が志望大学を決定する時期を見計らって、複数の雑誌社から様々な切り口で大学ランキングが発表される。なんと書いてもインパクトが大きい

2008年のリーマンショックで70%台に急落した本学の実就職率は、景気回復の波に乗り、右肩あがりて推移して直近の3年間は96%以上の値を維持してきた。今回の

2020年実就職率ランキング エリア別(関東)

関東圏理工系 単科大学1位・関東圏6位

1位の評価は、リーマンショック以後、試行錯誤しながら進めてきた就職支援活動の成果だと考えている。

今年の場合、8日間の日程で本館の教室をフルに使用して339社が参加した。随時開催される個別説明会とあわせると年間約600社が来学する。勿論、招待する会社は上場・優良企業を中心にOBが多く在籍し、継続して本学学生の採用を希望する会社、本学学生にふさわしい会社を厳選している。

その就職率である。マスコミで取り上げられる「実就職率」は、就職者数を卒業生から大学院進学者を引いた人数で割った値である。本学の2020年3月の卒業生は969名で実就職率は95.9%であった(大学院卒を含む)。

2008年のリーマンショックで70%台に急落した本学の実就職率は、景気回復の波に乗り、右肩あがりて推移して直近の3年間は96%以上の値を維持してきた。今回の

今年度は、4月の初回の授業は教室での対面授業であったが、その後の緊急事態宣言を受けて、以降の授業のほとんどがオンラインで行われた。オンライン授業という初めての事態に、教職員も速に変化する中、雇用情勢も悪化している。もの

オンライン授業のノウハウが共有されていったため、教職員も思いのほかスムーズにオンライン授業に慣れていた。緊急事態宣言からしばらくの間は、多くの学校でオンライン授業の準備に苦労していた。その様子はニュースでも報じられていたし、他校の先生方からも聞いていたの

専門職大学院では、オンライン授業の実施が決まると、早々に説明会が開催され、模擬的な実験も行われた。わかりやすいマニュアルも用意された。その後も、随時、オ

え、本学学生向けのTeamsでのリモート参加形式、および、一般向けのYouTube配信で実施された。このような方法は本学では初めてである。参加者はYouTube視聴を除き、対面参加約40名、リモート参加約200名と盛況であった。

講演ではまず、魅力的な研究者になるための基本的な考え方や人間関係を自らの半生を振り返りながらユーモアを交えて語り、聴衆を引き付けた。次に、アイデアの生み方や発想の転換について、溶液中の2成分を分離する

専門職大学院生が町の新名物を提案

神奈川県寒川町の園芸店「千秋園」では同町の新たな名物として「八福さぼてん」が販売されている。小さな木製升に植えられた八角形のサボテンで、専門職大学院の大学院生たちが企業支援の一環として提案し、同町の協力により商品化された。



サボテンは風水では邪気を払う植物とされており、千秋園が「八方除け」で知られる寒川神社の参道にあることから「八福さぼてん」と命名された。

変化できるものが生き残る

今年度は、4月の初回の授業は教室での対面授業であったが、その後の緊急事態宣言を受けて、以降の授業のほとんどがオンラインで行われた。オンライン授業という初めての事態に、教職員も速に変化する中、雇用情勢も悪化している。もの

オンライン授業のノウハウが共有されていったため、教職員も思いのほかスムーズにオンライン授業に慣れていた。緊急事態宣言からしばらくの間は、多くの学校でオンライン授業の準備に苦労していた。その様子はニュースでも報じられていたし、他校の先生方からも聞いていたの

専門職大学院では、オンライン授業の実施が決まると、早々に説明会が開催され、模擬的な実験も行われた。わかりやすいマニュアルも用意された。その後も、随時、オ

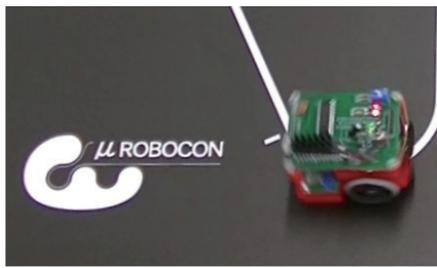
講演ではまず、魅力的な研究者になるための基本的な考え方や人間関係を自らの半生を振り返りながらユーモアを交えて語り、聴衆を引き付けた。次に、アイデアの生み方や発想の転換について、溶液中の2成分を分離する

「魅力ある科学技術者を育てよう」という一見困難な事例で考えさせた。続く後半では、資源・エネルギーの本質は「不均一化」にあるという観点を提供した後、マイクロバブルや大気圧プラズマ処理などの実際の研究事例やエピソードを写真や動画を中心に活写した。最後に「人」にやさしくなれば「環境」にもやさしくなれると締めくくった。

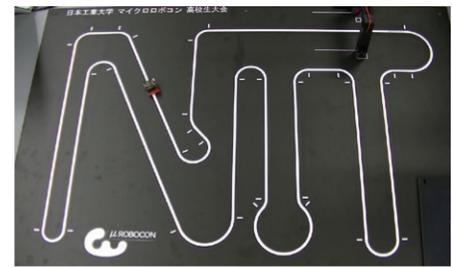
分かりやすく興味を引き、また、学習意欲を湧き立てる内容であった。参加者からは、本講演で述べられた、環境の「均一化」(資源・エネルギーの不均一性を均一化する)が環境の機能をどう研究に活かすのかなど、多数の活発な質疑応答が行われた。

第14回マイクロロボコン高校生大会

今年は遠隔で開催。ハイレベルな争いに。



白線のコースを疾走するマイクロロボット



今回はNITを模ったコースで競われた

12月26日~1月16日にかけて第14回マイクロロボコン高校生大会が開催された。自作の超小型ロボットが白線コース上を自律走行し、1周のタイムを争う競技である。

今大会は史上初めて遠隔で開催された。ロボットのコース周回タイムを自動計測するタイマーと今大会オリジナルコースをエントリーした高校に郵送。参加者自身が計測を行い、タイムを自己申告する形で競技が行われた。

各高校とも部活等が禁止される期間があるなど、課外活動が難しい状況にありながら、多くの高校生に参加していただいた。

1インチ部門の優勝は愛媛県立松山工業高等学校。予選コースでは1周2秒を切る好タイムで、タイマー計測の限界を超える速度であった。今回は遠隔開催ということで、計測回数の制限が撤廃された。その結果、通常よりも多くの高校生がタイムを残すことができ、例年より速いタイムで競われることとなった。

近年、参加高校の技術力が高まってきており、今大会では完全自作のロボットの多くが結果を残す形となった。本大会が高校の技術力向上につながっていることが伺える。

競技結果表

順位・表	高校名	操縦者	ロボット名	
1インチ部門	優勝	愛媛県立松山工業高等学校	奥野 海心	エリンギ
	準優勝	愛媛県立松山工業高等学校	志田 伊織	林くん
	3位	愛媛県立松山工業高等学校	村瀬 歩暉	べんべん
	4位	愛媛県立松山工業高等学校	仙波 大樹	シャア
	5位	愛媛県立今治工業高等学校	山田 泰史	スマイル3
	6位	長野県箕輪進修高等学校	赤羽 慎之介	もみじ
	7位	長野県松本工業高等学校	幅 陵馬	ワサビ
	8位	長野県箕輪進修高等学校	小田島 優太	ポチ
ネームカード部門	優勝	長野県松本工業高等学校	西脇 琉晟	Todespfeil
	準優勝	長野県松本工業高等学校	中村 樹	モーターくん
	3位	福島県立清陵情報高等学校	石井 翔陽	FLIEGEN
	4位	長野県松本工業高等学校	宮沢 友歌	だなも
	5位	福島県立清陵情報高等学校	熊田 裕斗	Reuse
	6位	埼玉県立与野高等学校	水吉 健太	与野1号機
	7位	長野県松本工業高等学校	清野 耀介	エビデンス加藤
	8位	福島県立清陵情報高等学校	小室 太貴	project.s
特別賞	工友会賞	福島県立清陵情報高等学校	鈴木 雅也	美智子
	デザイン賞	長野県松本工業高等学校	幅 陵馬	ワサビ
	技術賞	福島県立清陵情報高等学校	熊田 裕斗	Reuse
	エコロジー賞	愛媛県立今治工業高等学校	山田 泰史	スマイル3
学長賞	長野県松本工業高等学校	※学長賞は高校が受賞対象		

2020年度環境特別講演会 開催報告



講師の尾上教授(千葉工大)

講演には千葉工業大学応用化学科の尾上薫教授を迎え、成田学長の挨拶、NITEM環境教育部長佐藤教授の趣旨説明に引き続き、

1月9日、毎年恒例の環境特別講演会が開催された。本講演会は本学の環境教育と一般普及のために例年開催しているものである。本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、5号館大教室を利用してソーシャルディスタンスを取った対面形式に加

え、本学学生向けのTeamsでのリモート参加形式、および、一般向けのYouTube配信で実施された。このような方法は本学では初めてである。参加者はYouTube視聴を除き、対面参加約40名、リモート参加約200名と盛況であった。

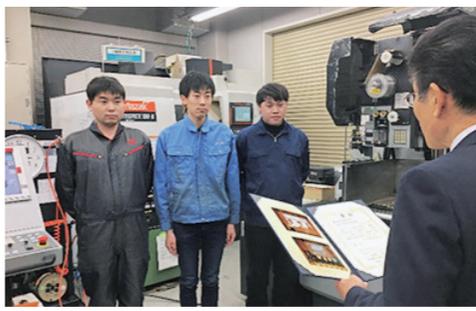
講演ではまず、魅力的な研究者になるための基本的な考え方や人間関係を自らの半生を振り返りながらユーモアを交えて語り、聴衆を引き付けた。次に、アイデアの生み方や発想の転換について、溶液中の2成分を分離する

「魅力ある科学技術者を育てよう」という一見困難な事例で考えさせた。続く後半では、資源・エネルギーの本質は「不均一化」にあるという観点を提供した後、マイクロバブルや大気圧プラズマ処理などの実際の研究事例やエピソードを写真や動画を中心に活写した。最後に「人」にやさしくなれば「環境」にもやさしくなれると締めくくった。

開放特許コンテンツ 審査員特別賞

機械システム工学専攻（二ノ宮研究室）の1年生有志チームが12月17日、さいしんコラボ産学官主催「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」の審査員特別賞を受賞した。

本コンテンツは大手企業が保有する開放特許を（二ノ宮研究室）の1年生有志チームが12月17日、さいしんコラボ産学官主催「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」の審査員特別賞を受賞した。



さいしんコラボ産学官からの賞状授与（左から沼田君、大林君、李君）

特許の有する機能的特徴の精緻な定義に加え、3D CADを用いた製品設計、3Dプリンタで製作した動作モデル（試作品）による実演など、本学伝統の「実工学の学び」を発揮し、STEMを提案。特許の有する機能的特徴の精緻な定義に加え、3D CADを用いた製品設計、3Dプリンタで製作した動作モデル（試作品）による実演など、本学伝統の「実工学の学び」を発揮し、STEMを提案。

た実効性の高い提案が高評価を得た。審査員からは「楽しいプレゼンテーションで画像や実物サンプル、設計図などがわかりやすく、ワクワクした」といった講評が寄せられた。12月22日、さいしんコラボ産学官の和田広之専務理事が来学し、贈賞式が行われた。

チーム代表の大林さんは「今回の提案は大学院の演習科目であるビジネスプランニングプロジェクトの一環として取り組んだ。一般受けしにくい、特殊な分野での製品アイデアに挑戦したが、自信を持ってプレゼンした結果、審査員の方から高い評価を得ることができた。指導していただいた二ノ宮進一教授、産学連携起業教育センターの筒井研多さんに感謝している」とコメントしている。

科学者への夢 宮代キャンパスで体験

埼玉県青少年育成埼玉県民会議主催の体験事業「夢を見つける！リアル体験教室」が12月5日、24号館応用化学棟にて開催された。本事業では子どもたちの夢の実現を応援するため、小学4〜6年生を対象とした様々な職業の「学びと体験の教室」が開催されている。子どもたちは興味のあるテーマを選び、県内の企業、教育機関、施設等において憧れの職業を体験



液体窒素の大噴火実験

後半は会場を大教室に移し、「超」を体験しよう！超低温、超高温、超高压の実験」と題したサイエンスショーが開催された。液体窒素を使った大噴火実験や火の玉プラズマ発生実験などが行われ、参加者は楽しみながら科学の魅力

天満宮例祭 参加者を限定して挙行

今年の日本工業大学天満宮例祭は、春の訪れを思わせる穏やかな陽気の中、八分咲きの梅が香る天満宮社前にて執り行われた。

開催日となった2月20日は、年明けに発令された緊急事態宣言の真ただ中。そのため今回の例祭は、理事長・学長以下



天満宮例祭の様子

の学内関係者のみで挙行され、式後に行われる直会も実施を見送らざるを得ない状況であった。

式次第は例年同様であったが、神職による祝詞奏上には、疫病の早期収束を願う祈願が特別に盛り込まれた。引き続き参加者全員が玉串を捧げ、学園のよりいっそうの弥栄を祈願した。

小中学生対象の プログラミングコンテスト

君津市・白岡市友好都市協定記念「新井白石」プログラミングコンテスト2020が開催され、12月23日に表彰式が行われた。

本コンテストは江戸時代の政治家・学者である新井白石の功績を称え、子ども達に秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍するきっかけとなることを期待される。



講評を述べる山地教授

山地教授は「本コンテストは江戸時代の政治家・学者である新井白石の功績を称え、子ども達に秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍するきっかけとなることを期待される。」と述べた。

SDGs特設サイト開設

<https://www.nit.ac.jp/sdgs/>

本学のSDGsに対する方針のほか、学長メッセージ、SDGsに関わる教員の研究、関連活動などを掲載している。2月9日から公開中。




町り宮だよ 228号

みやしろ桜の写真コンテスト開催

卒業生のみならず、ご卒業おめでとうございませう。また、在学生のみならず、ご進級おめでとうございませう。今年で10回目を迎える「みやしろ桜の写真コンテスト」。美しい桜と宮代町の風景をテーマに撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで、サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月23日までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

等々のドアノブや机を抗菌・抗ウイルスコーティングし、試験室等の入口には手をかざすと自動噴霧する手指消毒用アルコール製剤を設置する等の対策を講じて、受験生を迎えた。

小・中学生プログラミングコンテスト2020が開催され、12月23日に表彰式が行われた。本コンテストは江戸時代の政治家・学者である新井白石の功績を称え、子ども達に秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍するきっかけとなることを期待される。

- ◆ 山内伸裕教授（機械工学科）
- ◆ 古閑伸裕教授（機械工学科）
- ◆ 山地秀美教授（情報メディア工学科）
- ◆ 黒津高行教授（建築学）
- ◆ 末吉雄二教授（共通教育）
- ◆ 加藤秀次教授（工業教育研究所）
- ◆ 福田めぐみ准教授（応用化学科）
- ◆ 丸山友希夫准教授（情報メディア工学科）
- ◆ 大橋裕太郎准教授（情報メディア工学科）

2020年度 学長賞・英語教育センター長賞

学長賞は学業成績が特に優秀な学部卒業生と大学院修了生を対象とし、学会等への論文投稿や表彰件数などの実績をもとに選考される。英語教育センター長賞は、英語科目で特に成績が優秀であると認められた学部生が対象となる。

■学長賞受賞者（工学部）			■英語教育センター長賞受賞者（学部生）		
学 科	氏 名	出身校	学 科	氏 名	出身校
機械工学科			情報工学科		
ものづくり環境学科			建築学科		
創造システム工学科			生活環境デザイン学科		
電気電子工学科					

■学長賞受賞者（大学院生）		■英語教育センター長賞受賞者（学部生）	
専 攻	氏 名	学 科	出身校
機械システム工学専攻		情報工学科	
電子情報メディア工学専攻		創造システム工学科	
環境共生システム工学専攻			

びっくり科学実験ショー

空気の威力を紹介

子供たちの科学への興味喚起を目的とした「日本工業大学びっくり科学実験ショー」が11月28日、埼玉県の越谷科学技術体験センターで開催され、共通教育学群の服部邦彦教授が公開実験を披露した。ショーは多目的ホールにおいて午前と午後2回、感染症対策に配慮しながら実施され、各回とも親子連れなど約100名が観覧した。

今回のショーでは「ドカン」と一発！空気の威力を紹介するユニークな実験が行われた。服部教授はまず、風船と天秤を用いて空気にも重さがあることを説明。続いて、垂直に立てた筒に10kgの鉄アレイを入れ、中の空気を掃除機で吸い取って鉄アレイを持ち上げる「空気エレベーター」。長い水平の筒にピンポン玉を入れた状態で中の空気を抜いて真空状態にした後、空気を注入して時速600kmの超高速でピンポン玉を発射する「真空砲」の実験などを披露した。空気の力を目の当たりにした子供たちは「身の周りにある空気にすごい力があることがわかった」と驚いた様子で話していた。



空気エレベーターの実験

一人暮らしの学生を お米で支援

宮代町社会福祉協議会から「生活に苦しむ町内で一人暮らしの日本工業大学生にお米を支援したい」との申し出があり、30名以上の本学学生が一人につき5kgのお米贈呈の支援を受けた。

このお米は、社会福祉協議会が生活保護世帯に配布する目的で各所から寄付を募った令和2年度産の配布は2020年以内に終了したが、まだ100kg以上の余裕があったため今回の申し出に至ったものである。

申し込みの期限は1月29日であったが、当初想定していた25名の配布を



お米を贈呈される竹内学生支援部長（右）

- ◆ 竹内貞雄教授（機械工学科）
- ◆ 古閑伸裕教授（機械工学科）
- ◆ 山地秀美教授（情報メディア工学科）
- ◆ 黒津高行教授（建築学）
- ◆ 末吉雄二教授（共通教育）
- ◆ 加藤秀次教授（工業教育研究所）
- ◆ 福田めぐみ准教授（応用化学科）
- ◆ 丸山友希夫准教授（情報メディア工学科）
- ◆ 大橋裕太郎准教授（情報メディア工学科）